

# グローバル 眼の

BAT (Baidu、Alibaba、Tencent) はICT分野のプラットフォーマーとして、中国社会のデジタルソフトをけん引してきた。一方、3社はこれまで互いの領域、EC(電子商取引)やSNS、広告、コンテンツなどへ踏み込み、競合しあつてきた。なお、バイドウは主力の検索サービスにこだわり過ぎて他領域への進

注目したい。Tとは、字節跳動(バイトダンス)が運営しているニュース配信アプリの「今日头条( Toutiao )」と動画配信アプリの「抖音(TikTok)」のことである。今や世界最大のユニコーン企業であるバイトダン

## 中国プラットフォーマーの攻守戦



# リアル・海外に主戦場

スは、アプリの人気と拡散力を武器に海外進出に注力し、現地市場の開拓に実績を上げている。だが、米中対立、中印対立など政治の影響を受けやすい側面が懸念される。

スは、アプリの人気と拡散力を武器に海外進出に注力し、現地市場の開拓に実績を上げている。だが、米中対立、中印対立など政治の影響を受けやすい側面が懸念される。

スは、アプリの人気と拡散力を武器に海外進出に注力し、現地市場の開拓に実績を上げている。だが、米中対立、中印対立など政治の影響を受けやすい側面が懸念される。

転デリバリー・買い物代行サービス、金融・保険など収益源の多角化戦略を積極的に推進している。

PはEC新興勢力の「拼多多(Pinduoduo)」で、低価格商品に絞りを絞り、空白地帯だった地方の低所得層の開拓に成功した。EC大手のアリババと京東を追いかけ、ECの御三家の一角を占めるようになっていくと思われる。

BATと次世代プラットフォームの攻守によって、中国ICT産業の勢力図がどう塗り替えられるか、さまざまな領域でユーザーしばらく目が離せない。

Dはライドシェア最大手の「滴滴出行(Didi)」である。世界5億5000万人以上のユーザーにサービスを提供しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた。現在は配車、自動運



伊藤忠総研  
産業調査センター

趙瑋琳